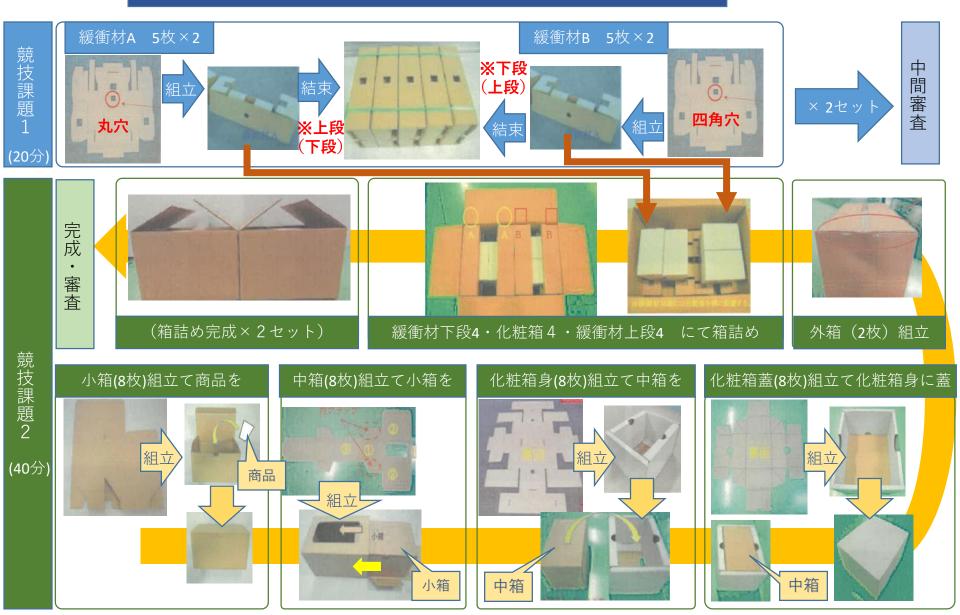
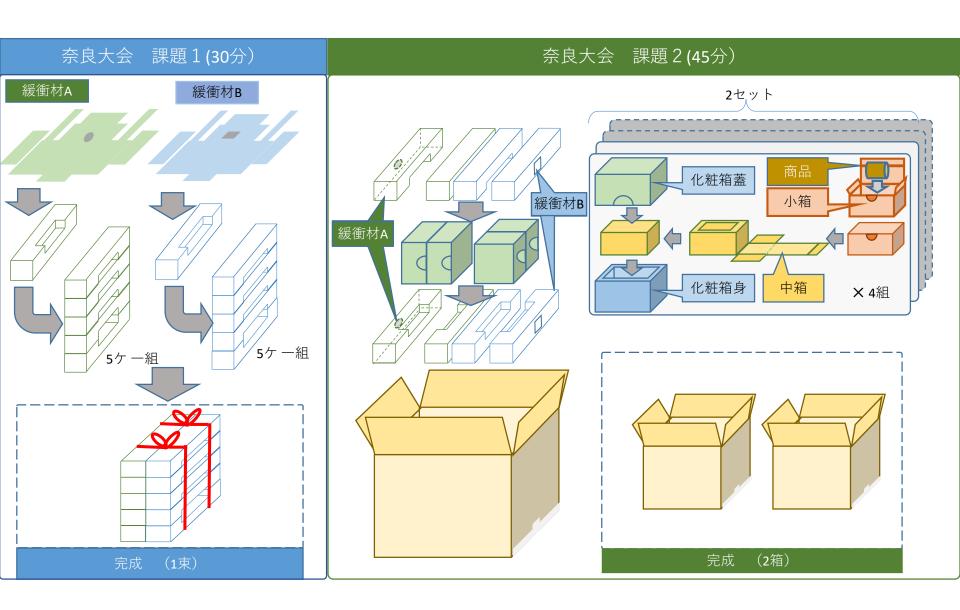
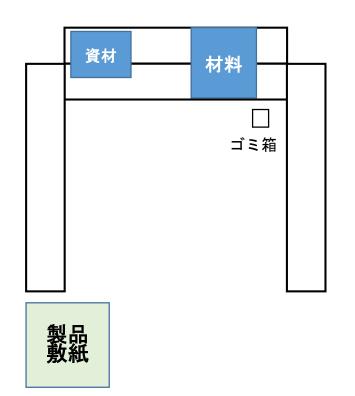
奈良県障害者技能競技大会製品パッキング競技

競技の流れ





競技レイアウト



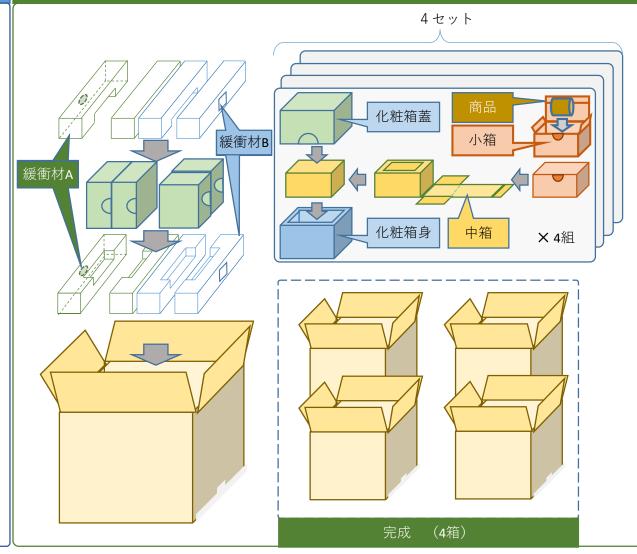
	材料名	数 量	単位	備考
競技用材料	外箱	2	枚	
	小箱	8	枚	
	中箱	8	枚	
	化粧箱 身	8	枚	
	化粧箱 蓋	8	枚	
	緩衝材 A	10	枚	
	緩衝材B	10	枚	
	商品	8	個	
資材	結束紐	1	巻	
	カッター	1	本	
	包装用テープ	1	巻	テープカッター付き
	製品敷紙	1	枚	課題2完成品を置く 際に使用します

- ・以下の資料は「全国大会」競技参考資料
- 実際には使用しない。

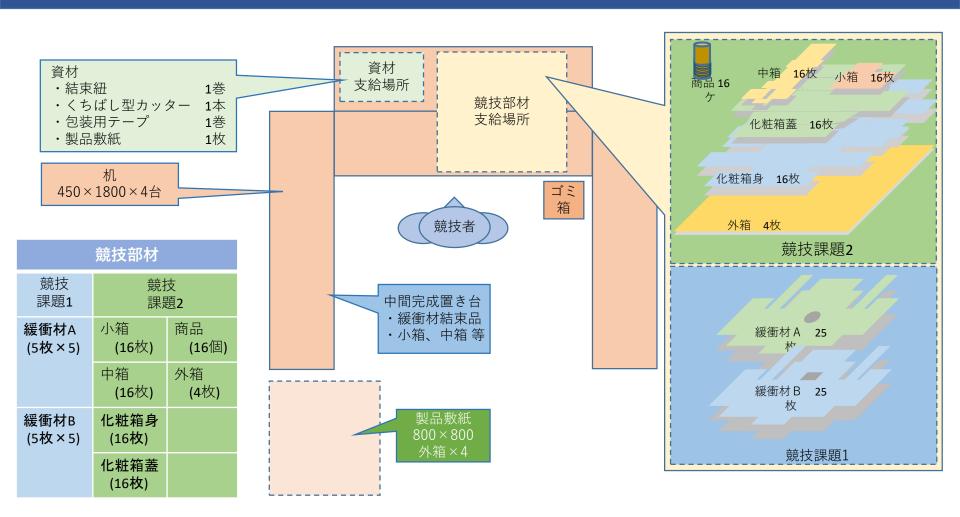
• 2025.3.13.

全国大会 課題 1 (30分) 緩衝材A 緩衝材B 5ケー東 5ケー東 (各5束)

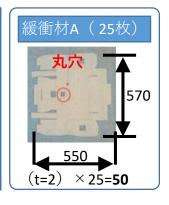
全国大会 課題 2 (60分)

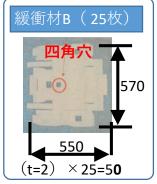


製品パッキング競技全国大会 競技レイアウト

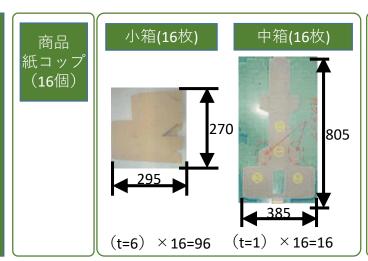


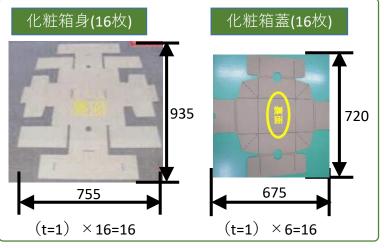
製品パッキング競技全国大会 資材支給検討

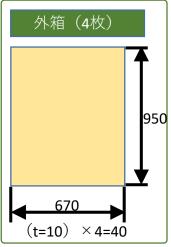




競技 課題1		ī材A (×5)	緩衝材B (5枚×5)		
競技	商品 (16個)	小箱 (16枚)	化粧箱 身 (16枚)	外箱 (4 枚)	
課題2		中箱 (16枚)	化粧箱 蓋 (16枚)		







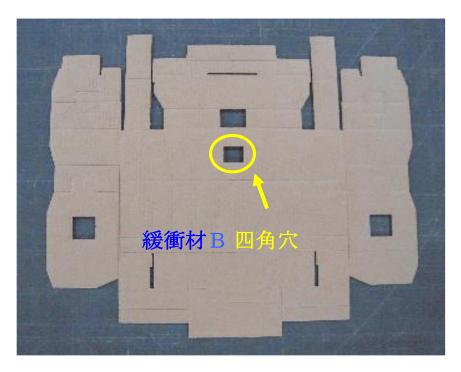
- ・以下の資料は「詳細説明図」です。折り方及び セットアップの手順として参考にしてください。
- 奈良大会では、完成すべきセット数を少なくした競技として採用しています。

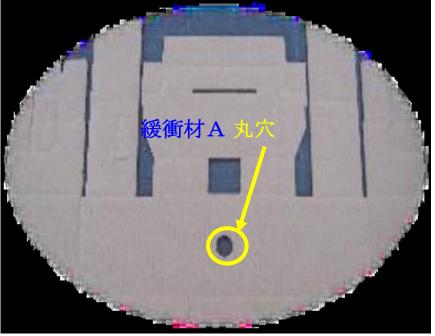
• 2025.3.13.

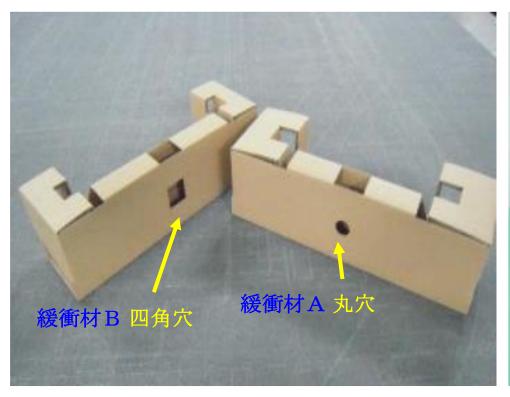
「詳細説明図」折り方の手順及びセット手順

競技用材料 緩衝材について

緩衝材は丸穴 (緩衝材A) 四角穴 (緩衝材B) の2種類あります 折れ線が見える方が裏面になります









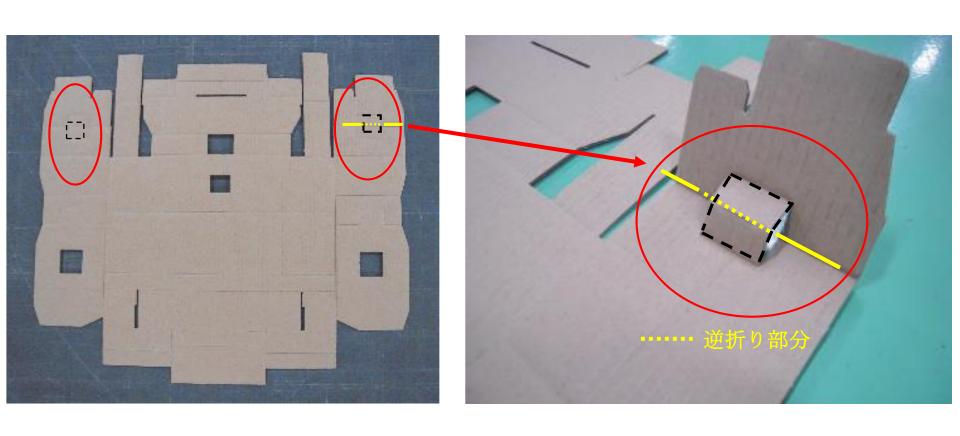
緩衝材A·B組立完成図

結束完成図

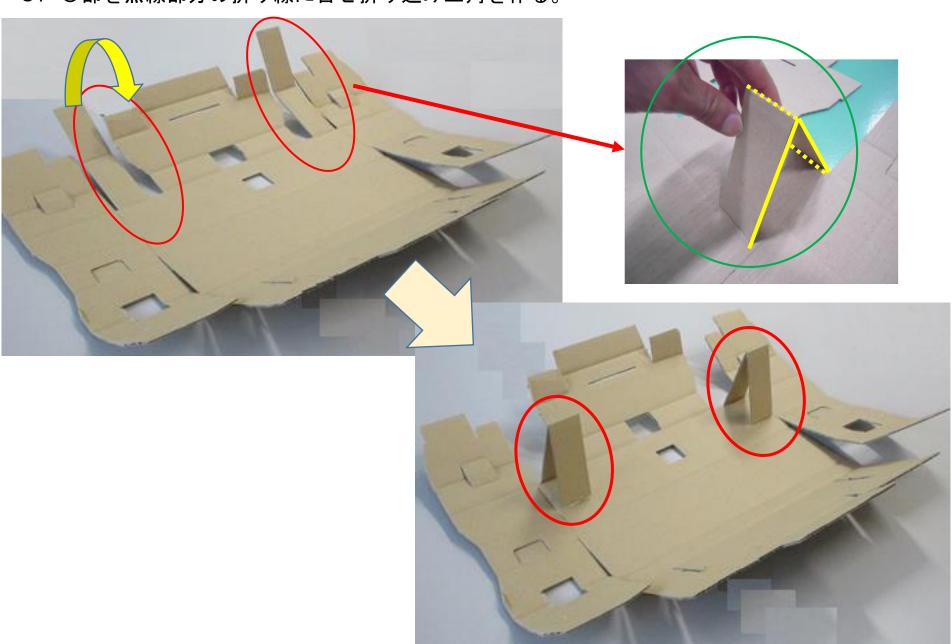
1. 緩衝材 2 種類あるが、基本的な折方は 共通です。(写真は緩衝材B) 緩衝材の 裏面を上にして折ります。

最初に○印の箇所から折ります。

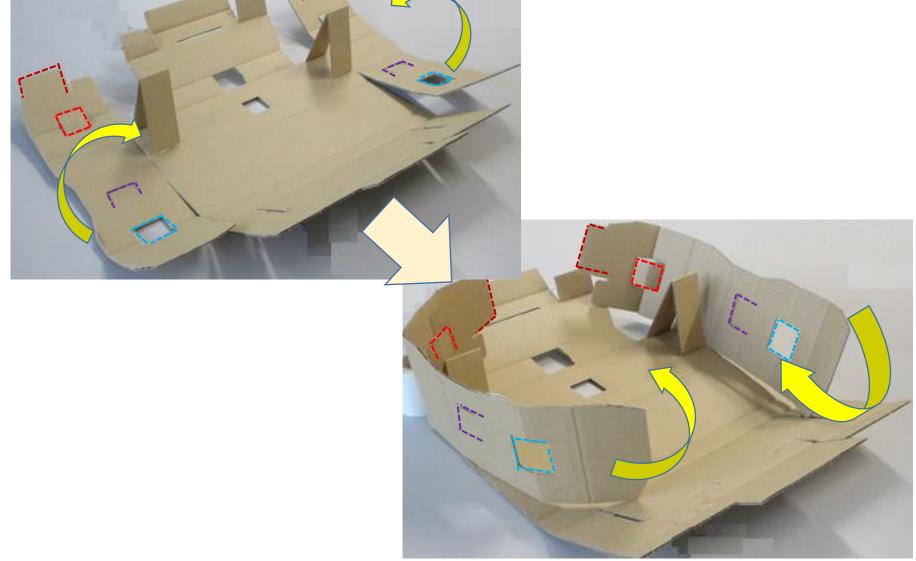
2. 本体の袖部分2か所に折り癖を付ける。

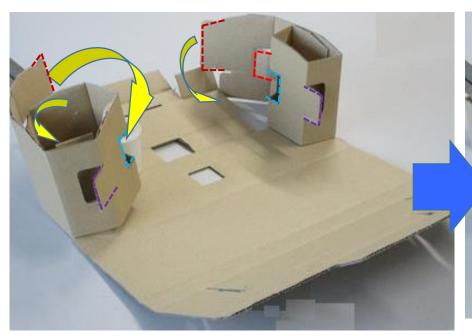


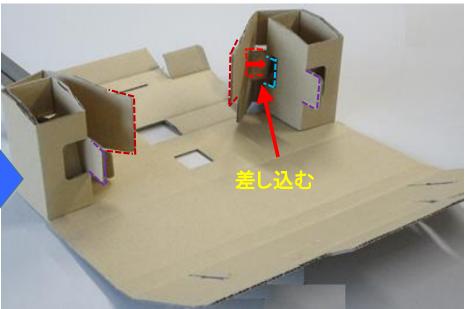
3. 〇部を点線部分の折り線に合せ折り込み三角を作る。

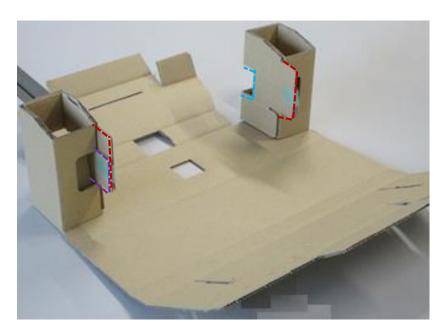


4. 袖部分を立ち上げ、3で折った三角部分に巻き付けるように折り込む。



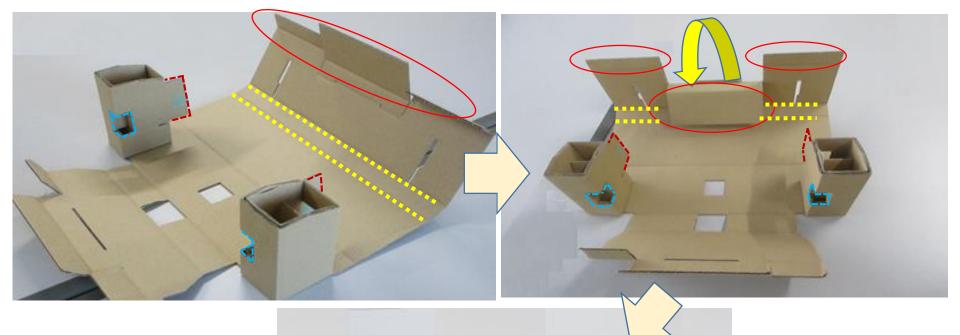




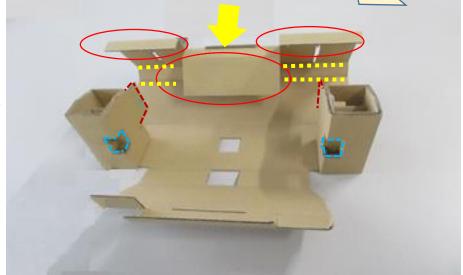


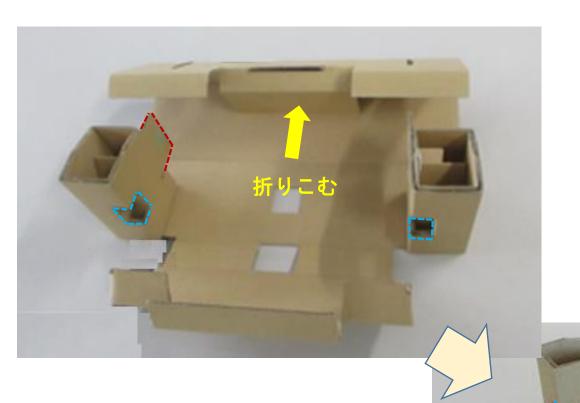
5. 〇で囲んだ部分を折ります。

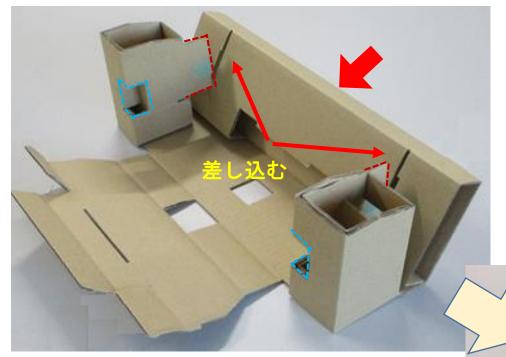
6. 中心部を点線部の罫線に合わせ折ります。



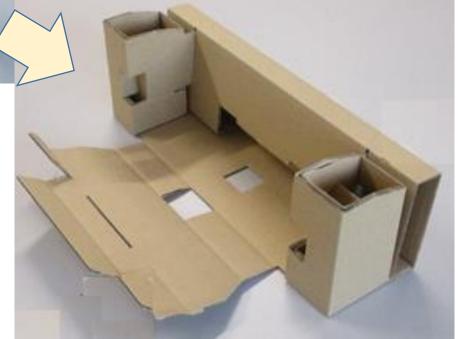
7. 先端部3か所を折りながら矢印方向に折り込む。

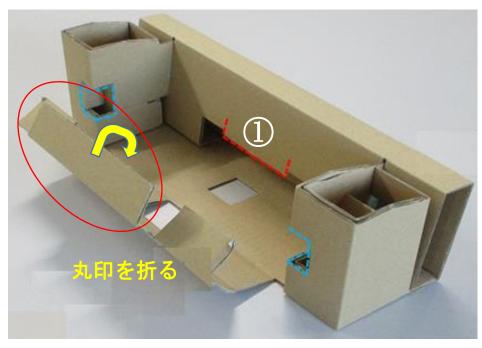


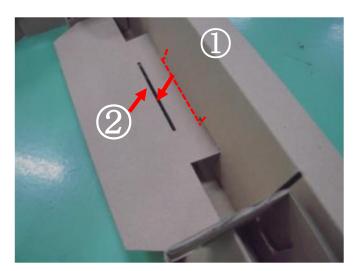




8. 穴部に袖部分の凸部分を差込ながら全体を立ち上げ折り込む。

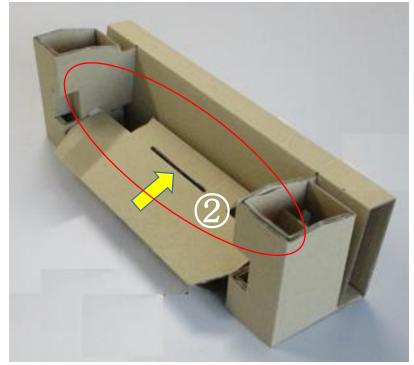


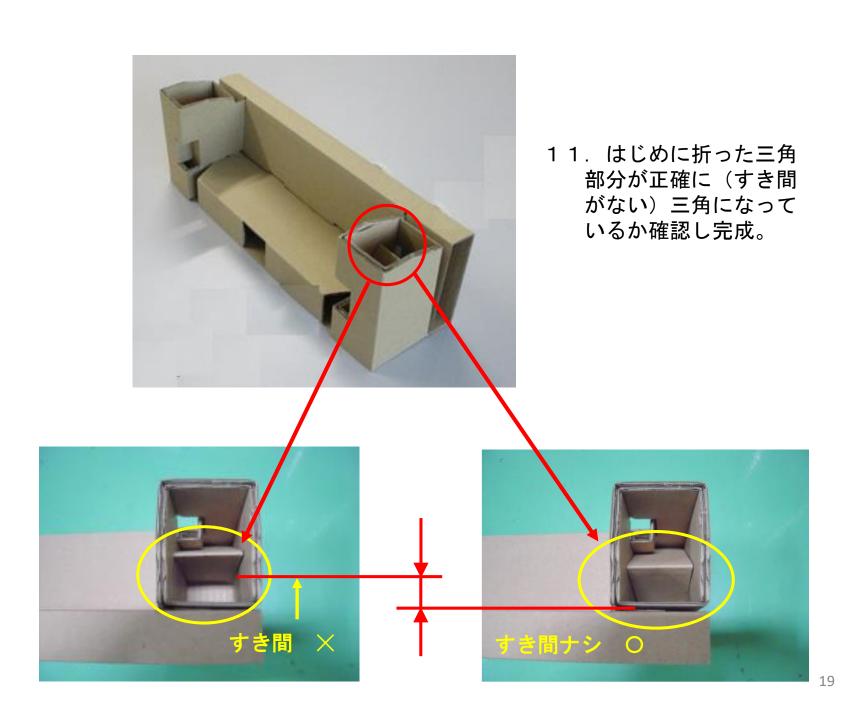




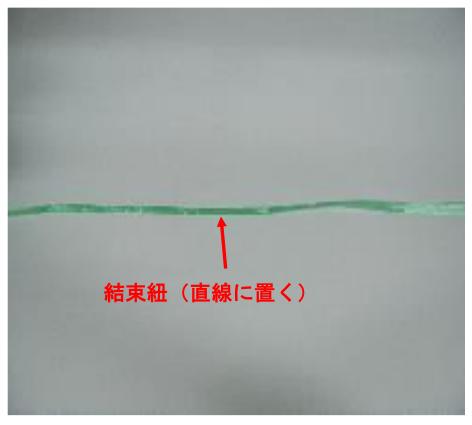
9. 先端部3か所を折りながら矢印 方向に折り込む。

10. 全体を折り込み、①を② に差し 込み本体にピッタリと押し込む。

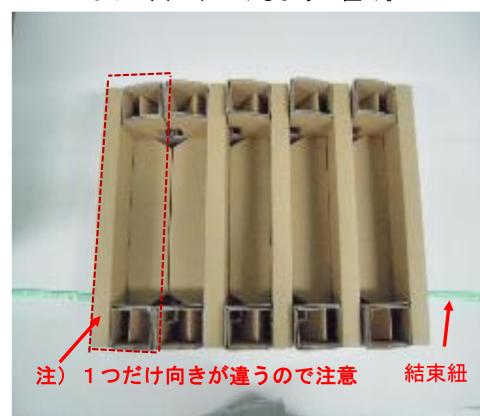




12. 作業台に結束紐を可能な限り直線に置く。

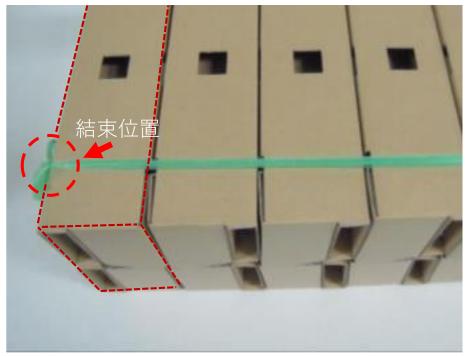


13. 設置した結束紐の上に緩衝材5ケを結束 紐が端側位置にくるように置く。置く際 は〇口穴が下にくるように置く。



- 14.13で置いた緩衝材と異なる緩衝材(○ 穴であれば□穴、□穴であれば○穴)を5ケ、穴が上にくるように置く。
- 15. 緩衝材の端から10cm以内の角で結束する。結び方は自由。ただし、8cm以内の結び目で容易に解く事が可能な結び方にするまた、紐を持ち上げたとき、製品と紐の間隔が5cm以内になるようにする。
- ※課題2では、自ら作成した製品の紐を解いて 使用します。



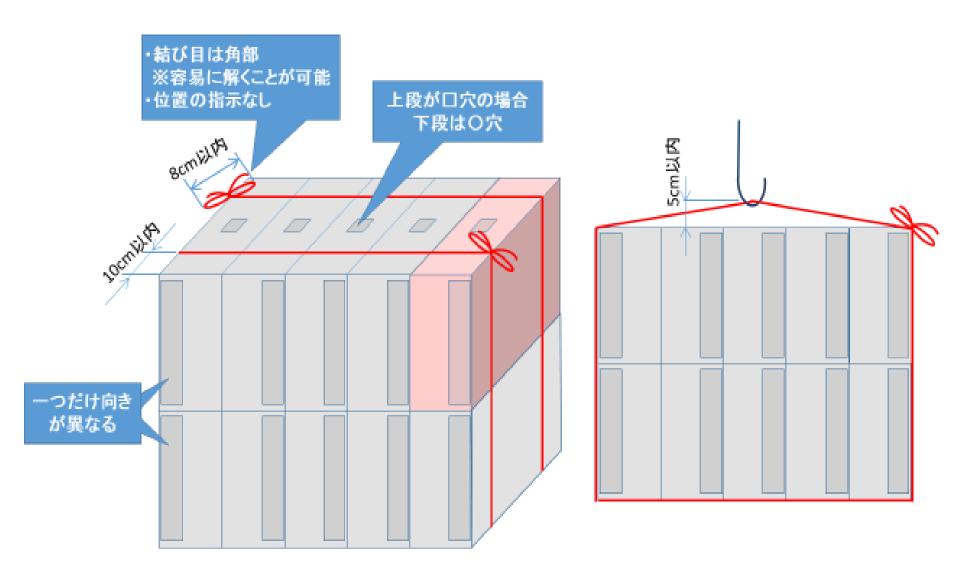


16. 反対側も同様に、結束紐を緩衝材の端に 17. 緩衝材□(角)で結束し完成。 くるように設置する。









【競技課題2】 小箱・中箱・化粧箱・外箱の組立・セットアップ梱包

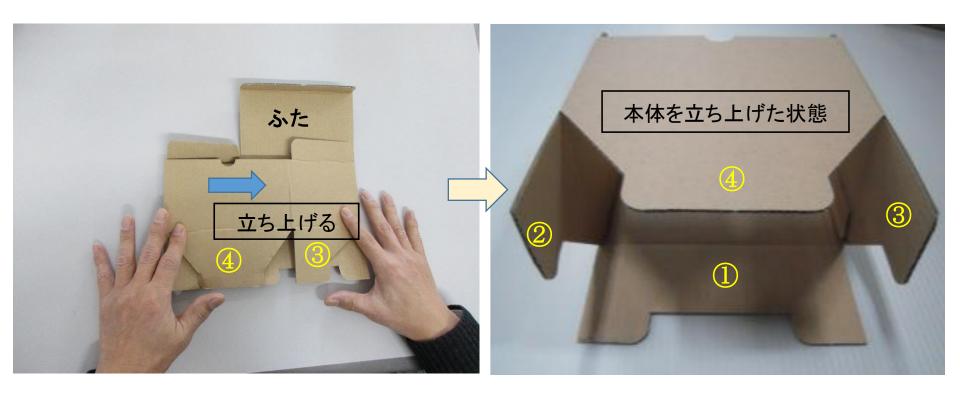
小箱展開図

小箱完成図



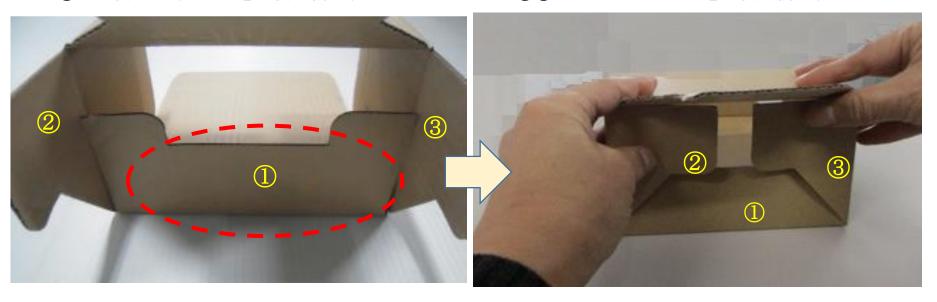


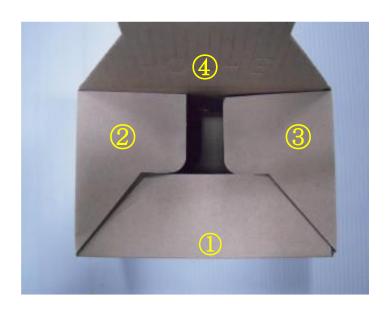
※罫線(折れ線)が見える方が裏面になります1,蓋を下にした状態で、本体を立ち上げる



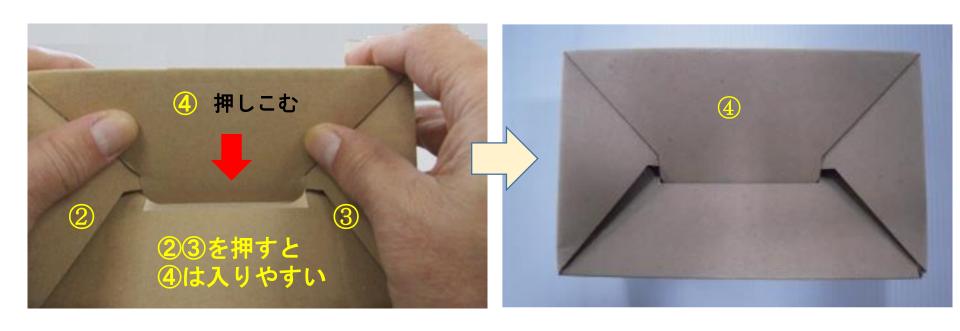
2. ①の蓋側底フラップを内側に折る。

3. ②③のフラップ2か所を内側に折る。

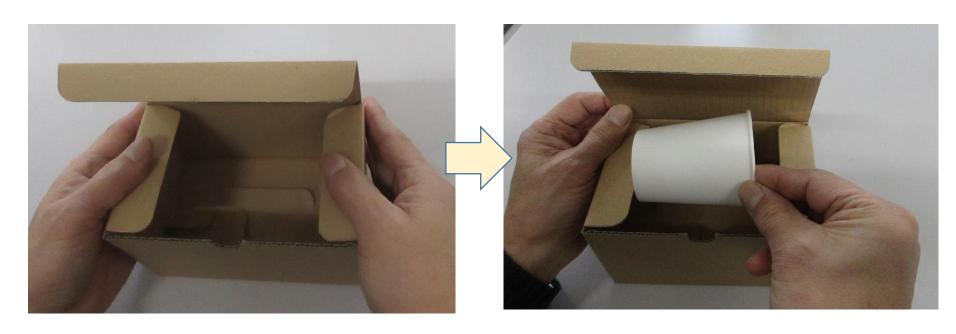




4. ④のフラップを内側に押し込み、底部が完成。

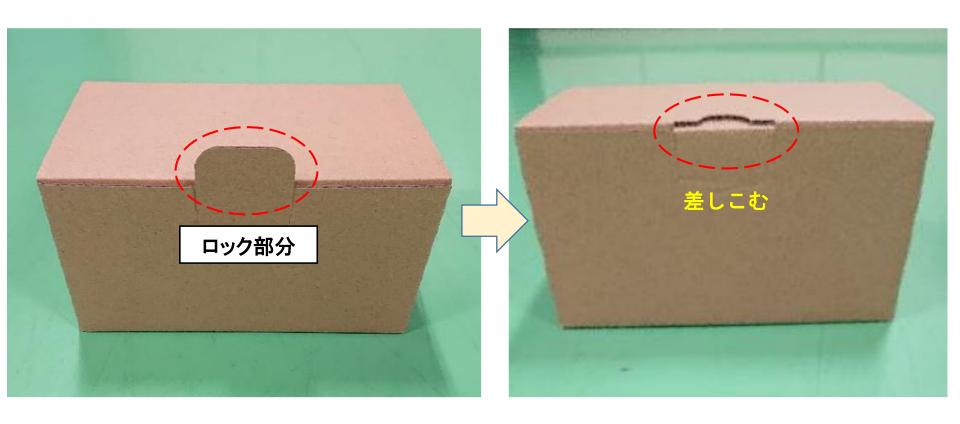


5. 底部を下にし、商品を箱の中に入れる。商品を入れた後、内フラップ2か所を内側に折る。



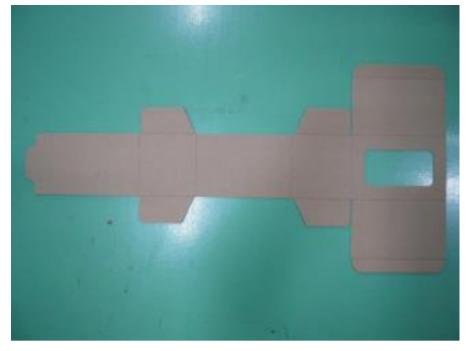
※商品の向きは審査対象外です

6. 最後に蓋をしてロック部分を挿入し完成。



中箱展開図

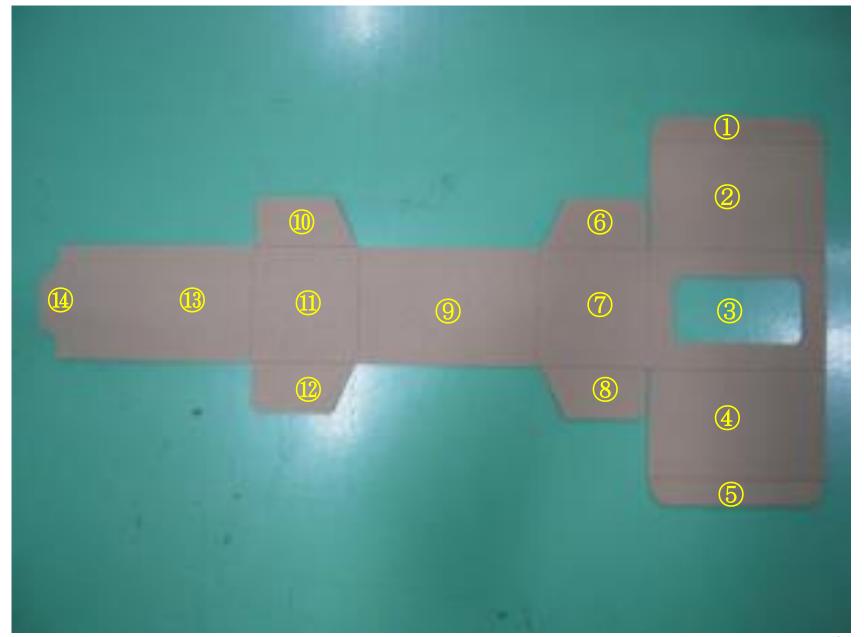
中 箱 完 成 図



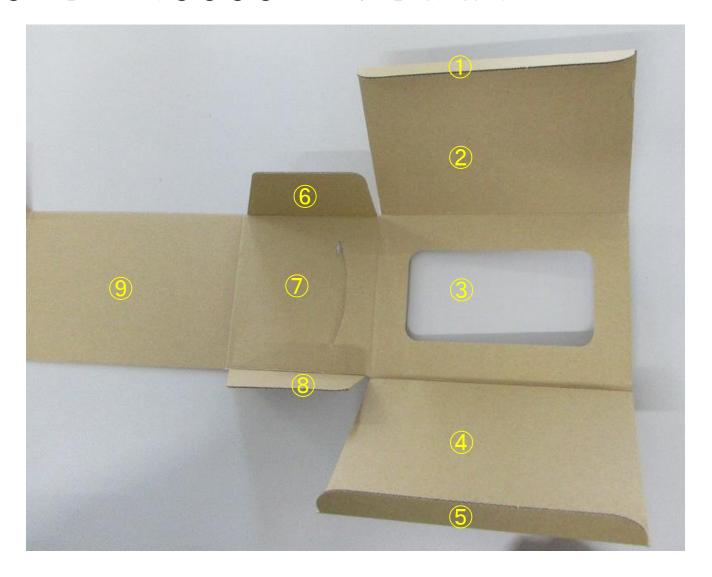


※罫線(折れ線)が見える方が裏面になります
※競技材料はカットのみの材料です。そのためくず取り作業が必要となります。

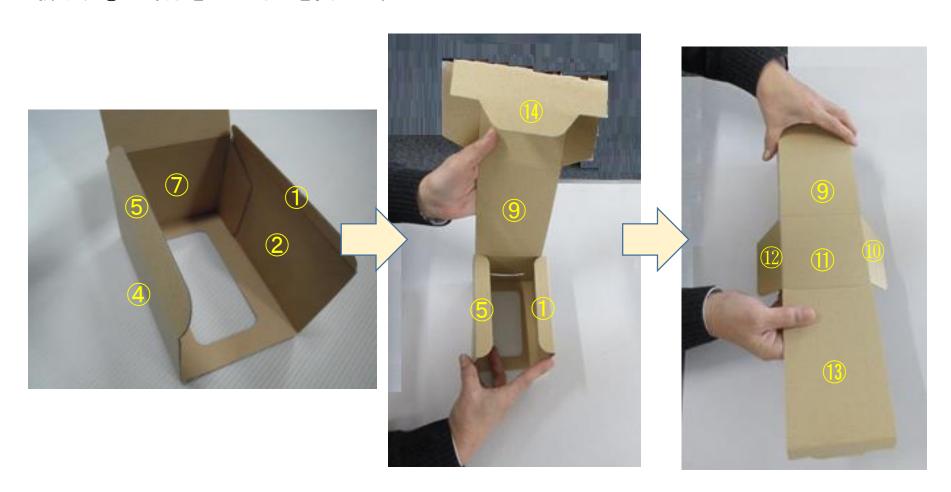
7. ①の面を立ち上げ、内フラップ部分を内側に折りその後、②の面を立ち上げ先端部分を内側に折る。



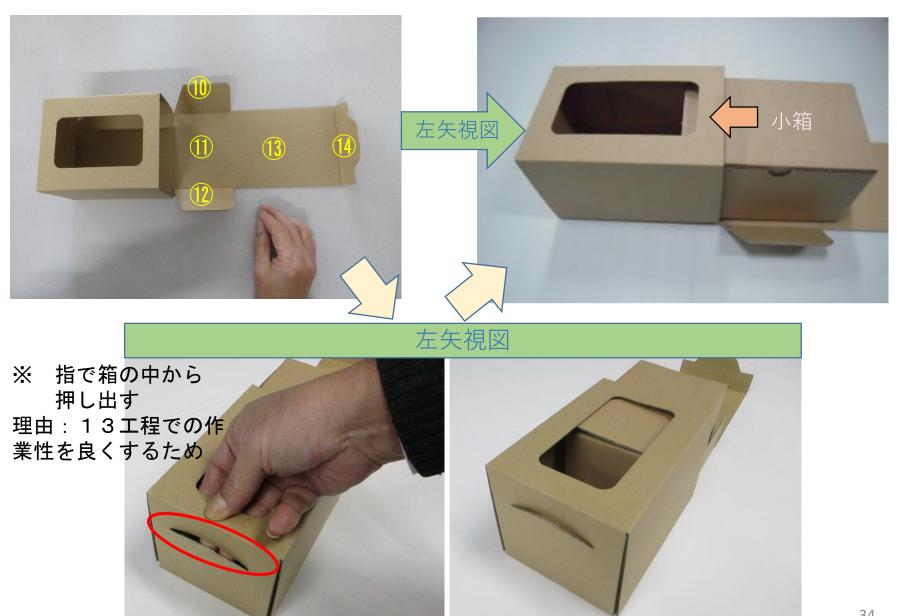
8. ② ④の面を立ち上げ、① ⑤ ⑥ ⑧フラップ部分を内側に折る。



9. ②④の面を立ち上げ①⑤先端部分を内側に折る。⑦の部分を罫線(折れ線)に沿って折り、⑨の部分を下に向きを変える。

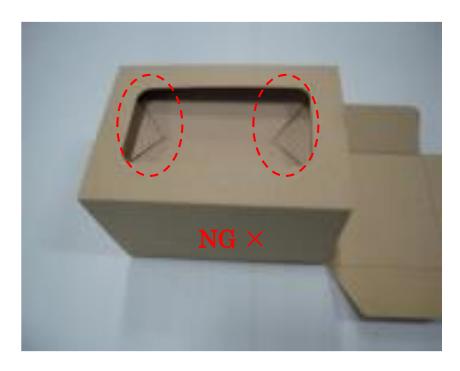


10. 中箱の中に小箱を写真のように入れる。その際、中箱の穴から小箱の底が 見えないように小箱の上下向きに注意する。

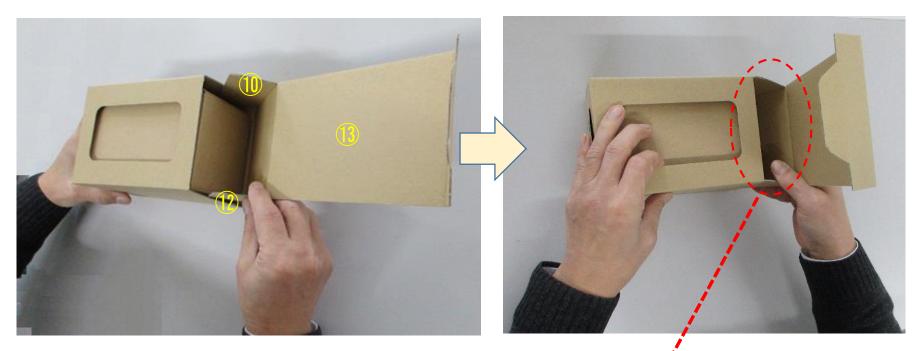


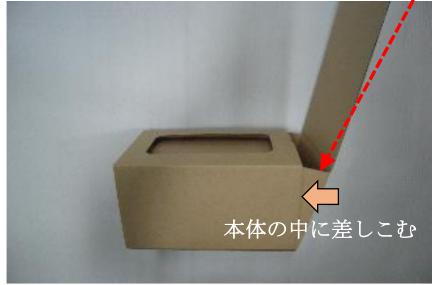
11. この時、中箱の穴から小箱の底が見えないように小箱の上下向きに注意する。



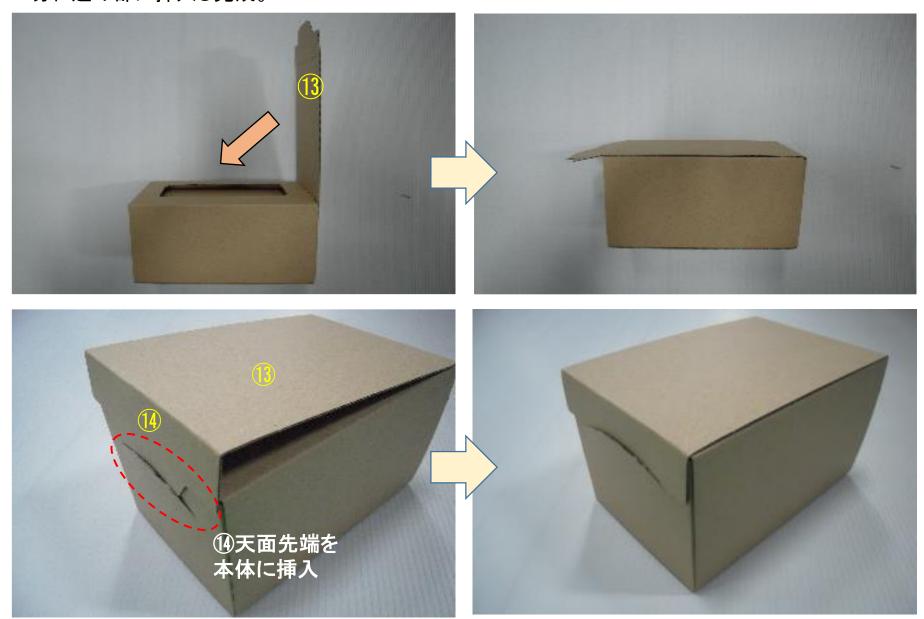


12. フラップ部分⑩ ⑫2か所を内側に折り、本体の中に差し込む。





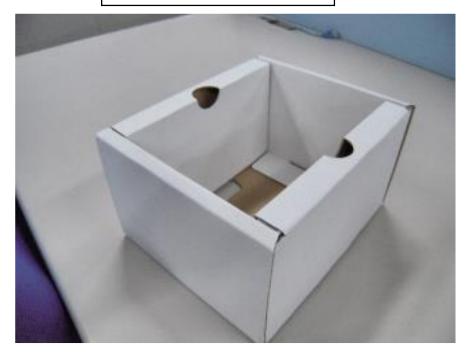
13. 中箱の天面③ を本体に向かって折る。最後に天面先端⑭の差込部を本体の切れ込み部に挿入し完成。



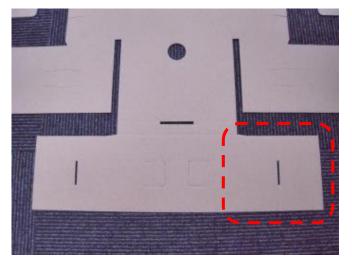
【競技課題2】小箱・中箱・化粧箱・外箱の組立・セットアップ梱包

化粧箱身展開図

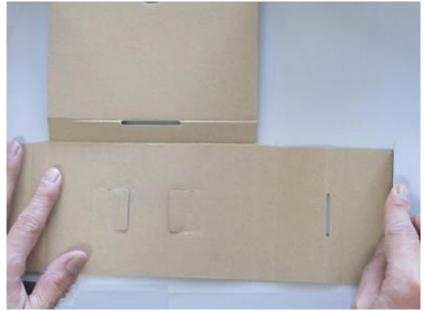
化 粧 箱 身 完 成 図

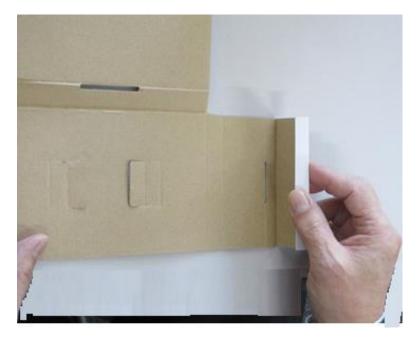


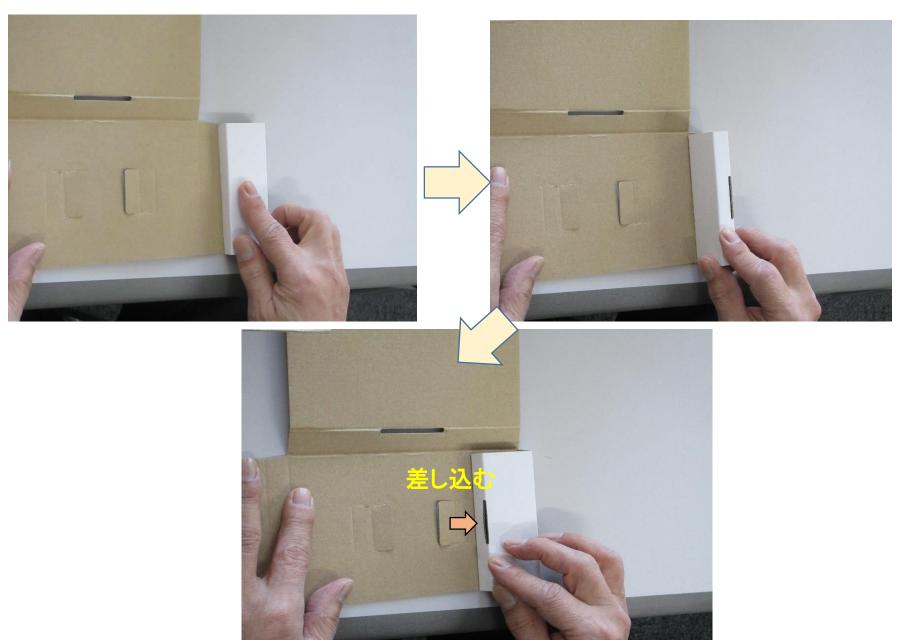
- ※罫線(折れ線)が見える方が裏面になります
- ※競技材料はカットのみの材料です。
- そのためくず取り作業が必要となります。



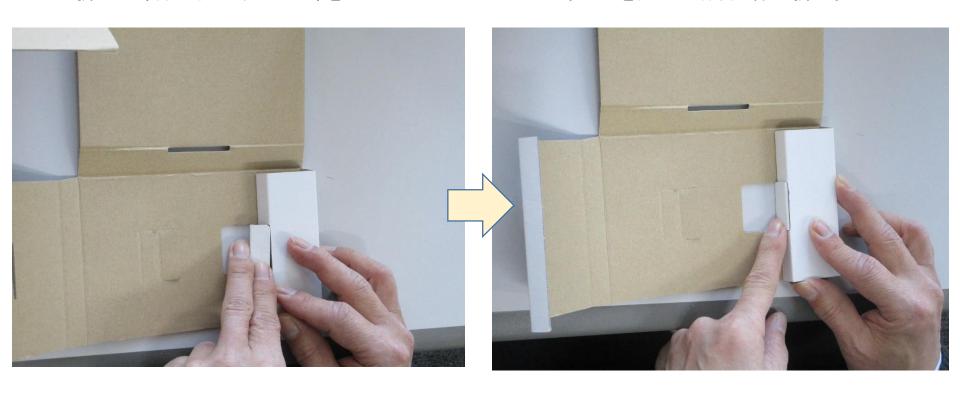
1. はじめに丸印の部分から折ります。 (左右どちらでも良い)端の部分を内側に巻くように罫線に合わせ折る。

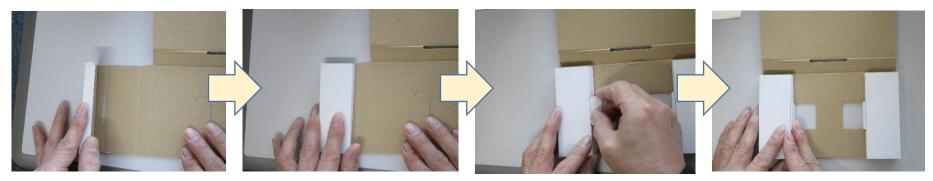


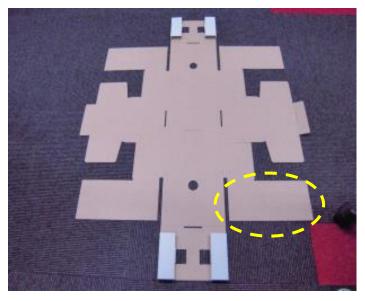




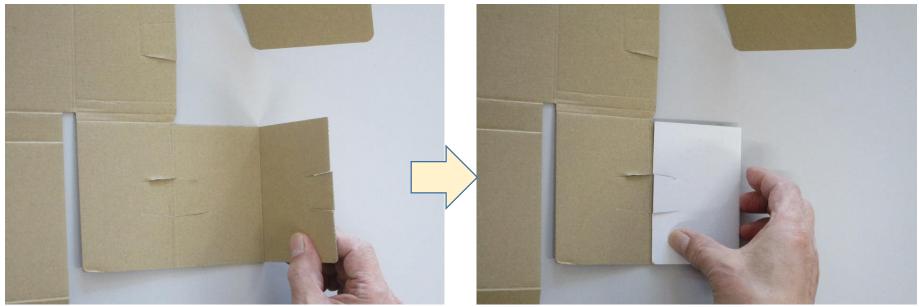
2. 折った部分の穴に、ロック部を下から立ち上げ差し込む。これを計4か所、同様に折る。







3. 丸印の部分を端から罫線に合わせ内側に折る。

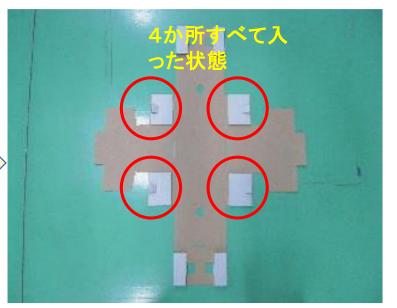


4. 本体中心に向かって罫線に合わせ折る。

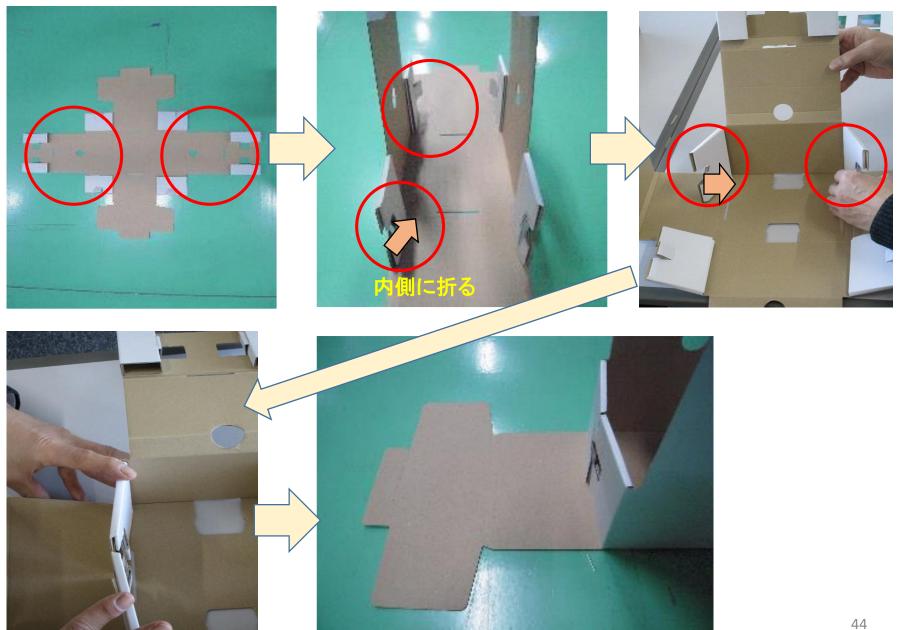


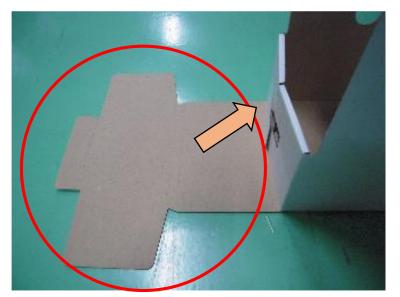
5. ロック部分を下から押し上げロックする。 これを各部、計4か所同様に折る。



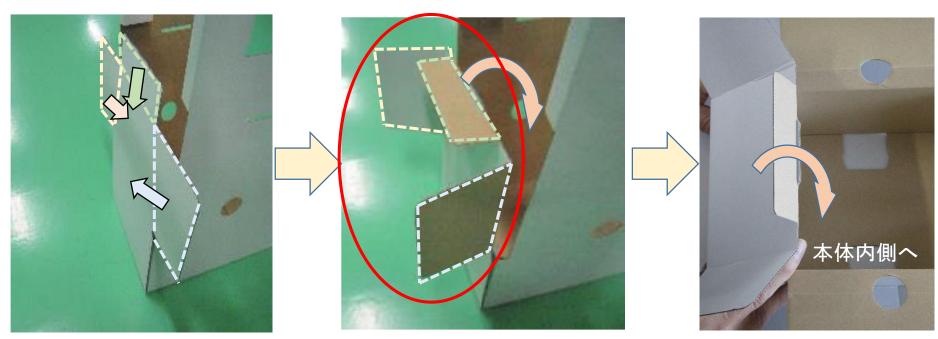


6. ○の部分を立ち上げる。フラップ部分を内側に折る。

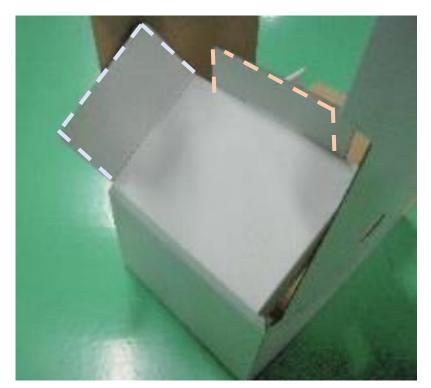


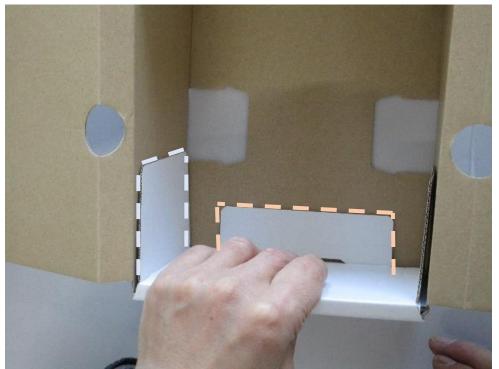


7. 〇の部分を立ち上げる。先端を外側に 3か所折り、本体内側に折り込む。反対側 も同様に折り込む。



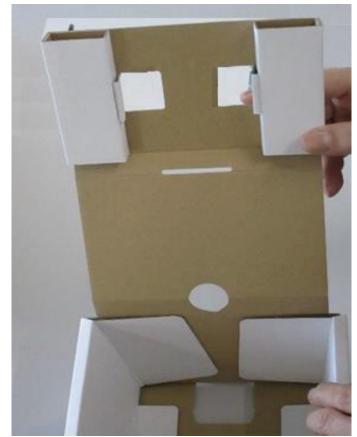
反対側も同様に折り込む



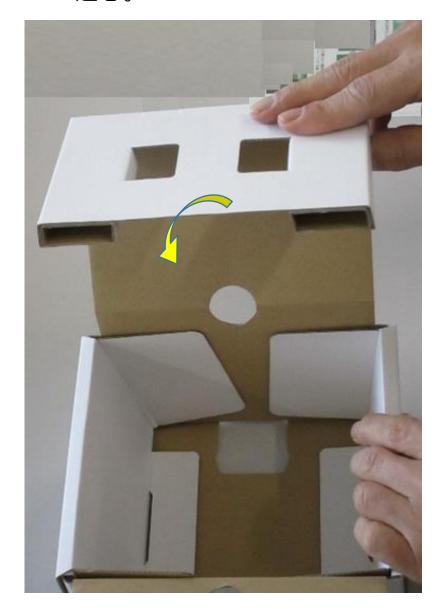


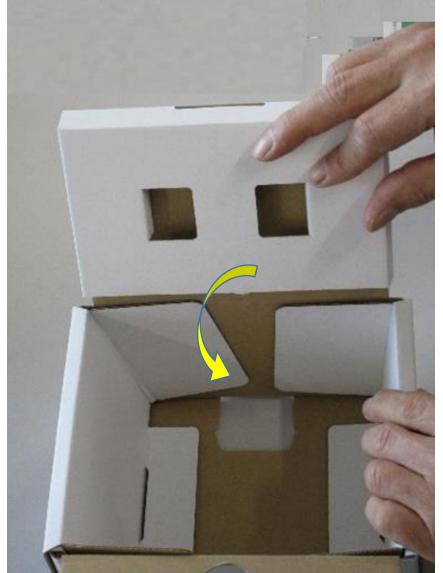
8. フラップ部分を内側に折る作業の次に、端の部分を内側に巻いた部分を罫線に沿って折り曲げる。



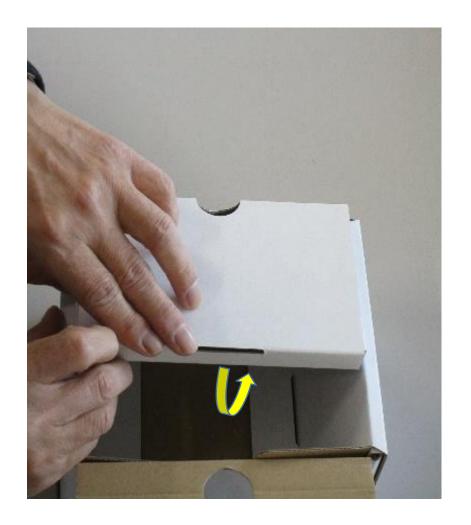


中段も罫線に沿って折り曲げ、箱の底まで巻き込む。



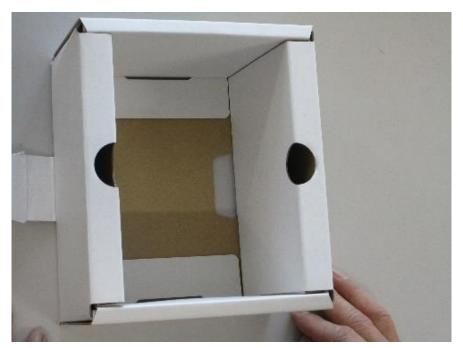


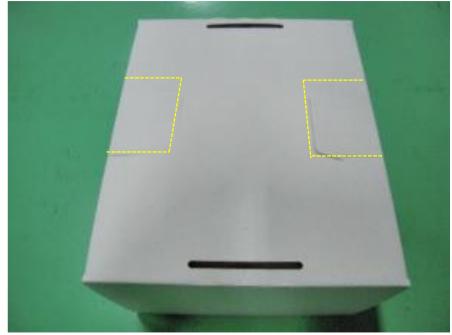
反対側も同様に折り、巻き込む



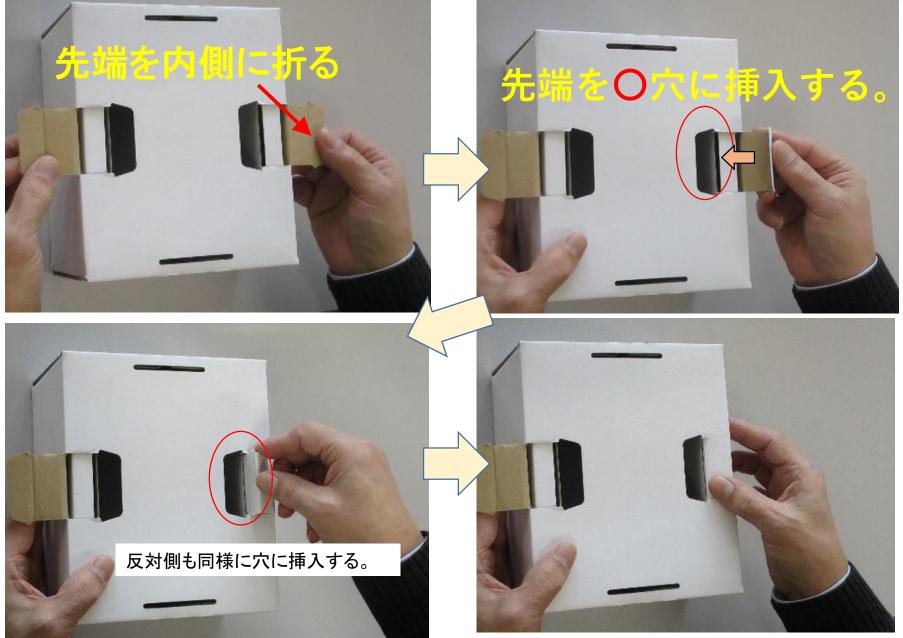


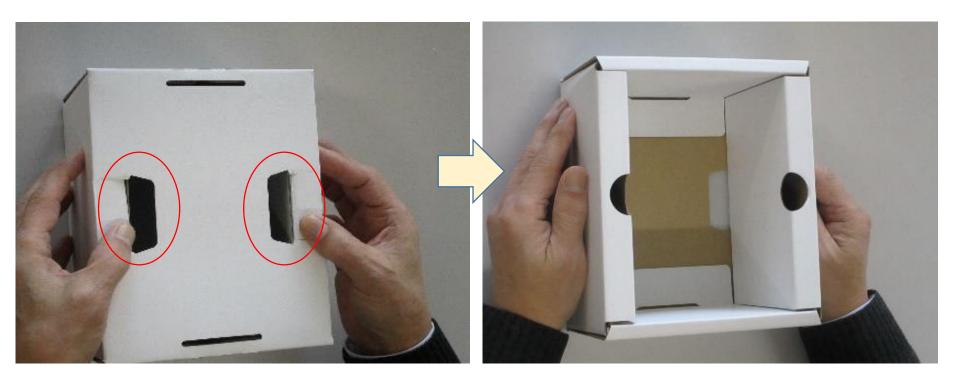
9. 裏(下)側を上にして、ロック部分を裏側から押し出す。





ロック部分を裏から押して、先端を罫線沿って折る。2の穴に挿入する。





2か所のロックが出来たら、底部を下に向きを変え完成

【競技課題2】小箱・中箱・化粧箱・外箱の組立・セットアップ梱包

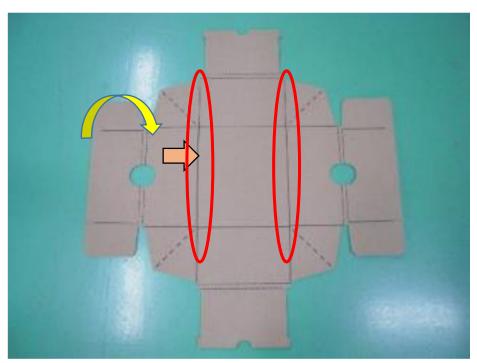
化 粧 箱 蓋 展 開 図

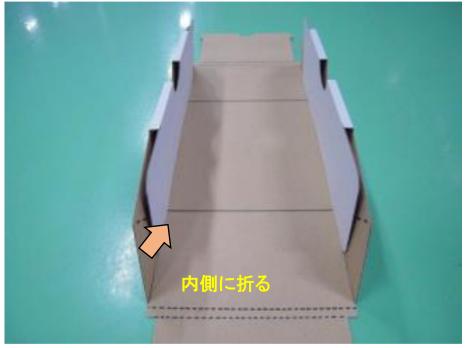
化 粧 箱 蓋 完 成 図



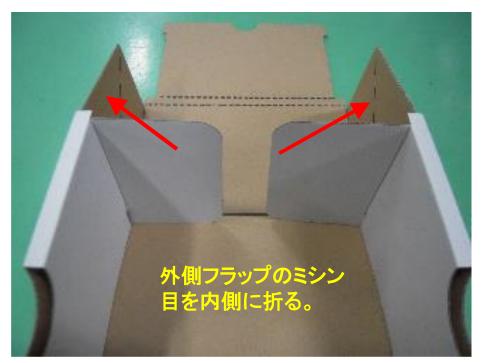
- ※罫線(折れ線)が見える方が裏面になります
- ※競技材料はカットのみの材料です。そのため、くず取り作業が必要となります

1. 〇罫線部分を内側に折り立てる、次に丸抜き部分の罫線を内側に折り、内フラップを内側に折る。

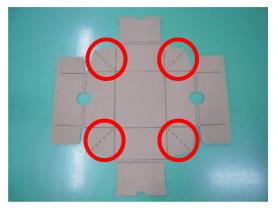




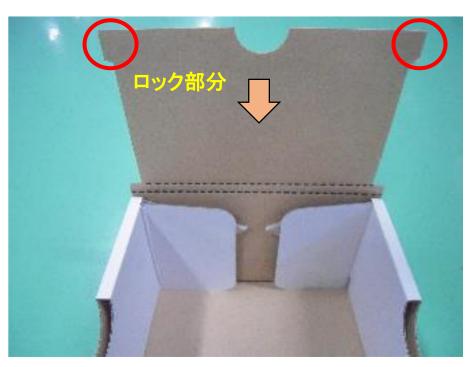
2. 内フラップを内側に折り、その後に、外側フラップのミシン目を内側に折る

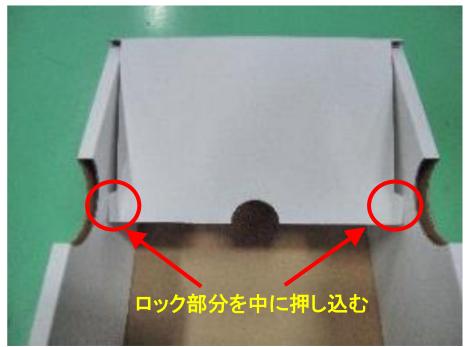






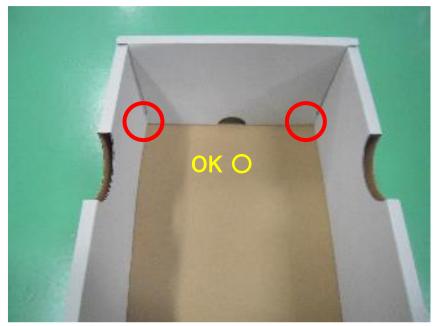
3. 側面を内側に折り込み、ロック部分を中に押し込む。





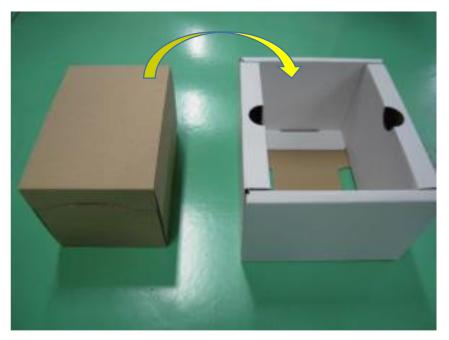
4. 反対側も同様に折り完成。







5. 化粧箱身に小箱が入った中箱を入れる。

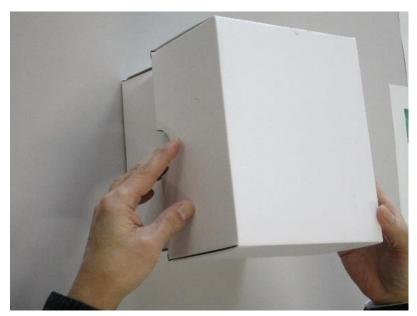






6. 中箱を入れ蓋をする。これを4ケース作成する。

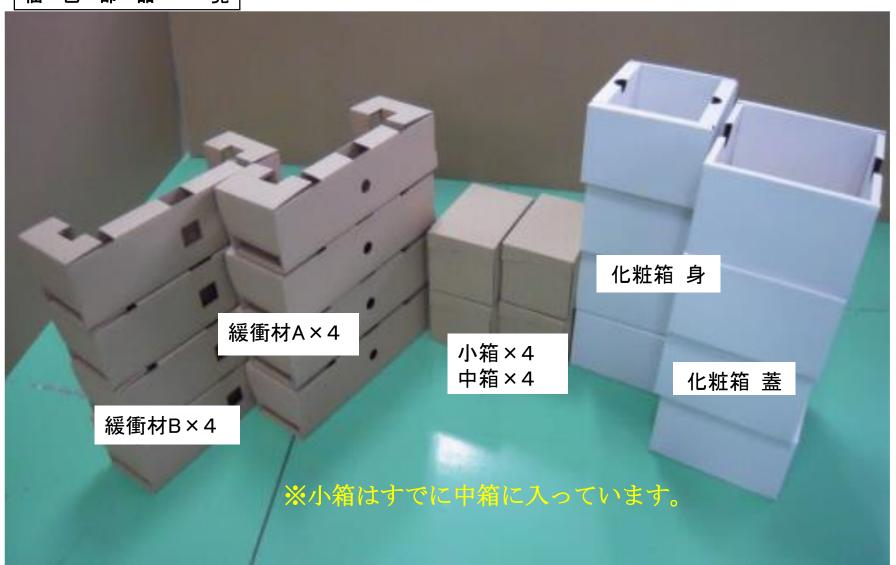




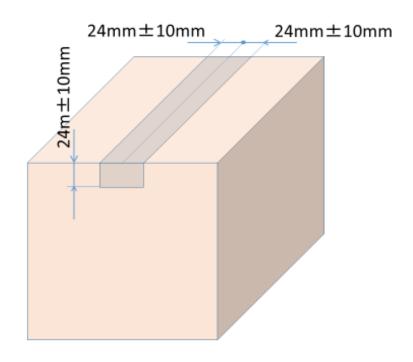


【競技課題2】小箱・中箱・化粧箱・外箱の組立・セットアップ梱包

梱 包 部 品 一 覧



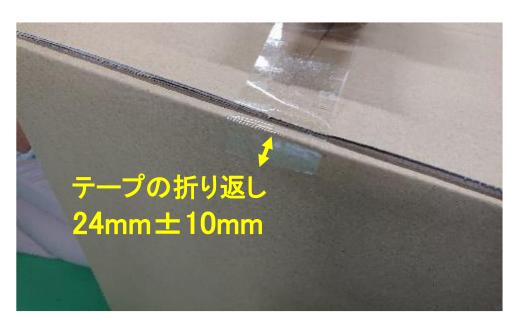
部品を外箱にセットアップし梱包します。

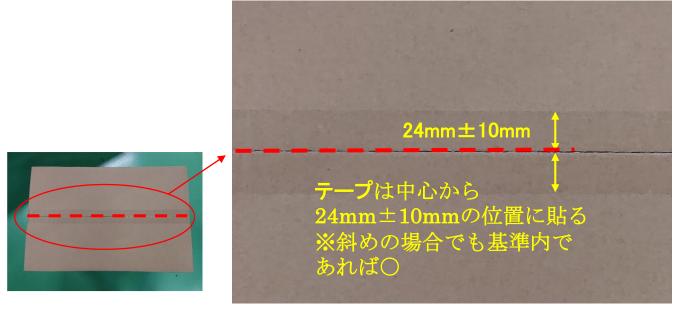


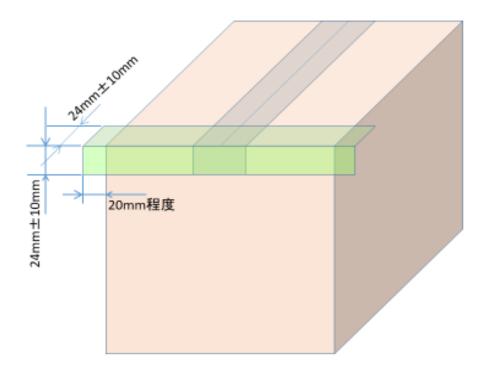
1. 外箱を組立て、底部を上図のように包装テープで貼り封をします。



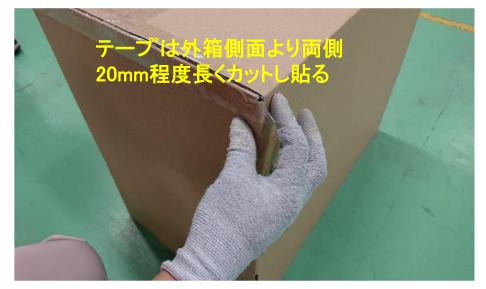


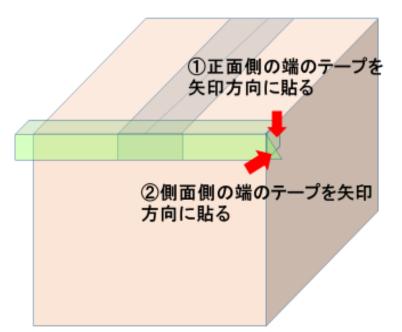








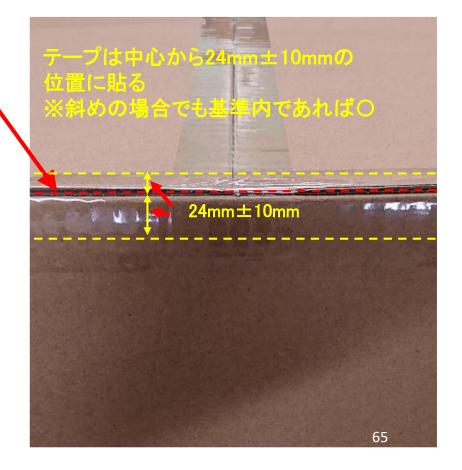












2. 外箱を作成し、その中に緩衝材を〇穴または口穴が外側になるように各2ケずつ設置し、化粧箱を入れる。



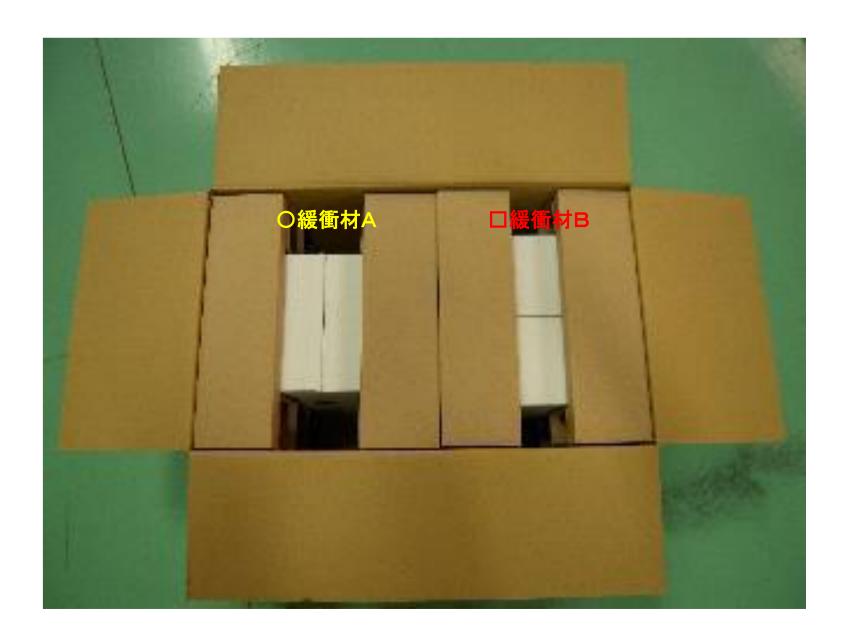
※緩衝材B側には化粧箱を横に 設置する。

※緩衝材A側には化粧箱を縦に設置する。

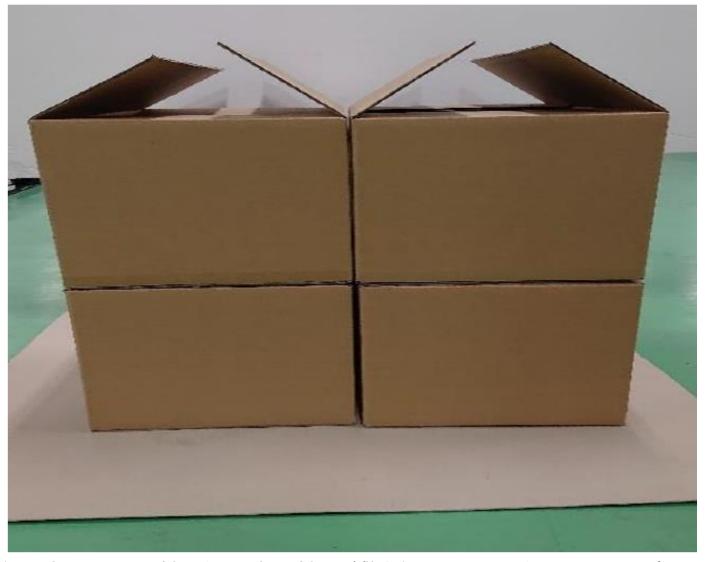




3. 底部緩衝材と同じ緩衝材を向き合うようにそれぞれ上に設置する。



4. 外箱の上部を折り敷き紙の上に置く(奈良大会は2梱包)上部はテープを貼りません



※敷き紙は床に設置し、製品を置く際は製品が敷き紙からはみ出ないように置く事 ※敷き紙には製品以外の物を置く事は出来ません